

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
小ギク	沖縄	台風19号により当初の植付面積より1割程度の減少となった。また、出荷物については葉スレ、曲りなどの被害が見受けられるが、台風後は順調に回復傾向にある。	<div data-bbox="778 349 863 383" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現状</div> <p>10月に関しては特別大きな需要が無い為、引き合いに関しては数量の増減により価格の変動がある状況。上旬に関しては各色少なめで推移したが、中旬以降は色目により多い、少ないがある状況となった。</p>
	茨城	・出荷終盤なので、下旬またずに終了する見込み。	<div data-bbox="778 461 863 495" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見通し</div> <p>大田花き 全体的に月を通して不安定入荷となる。沖縄に関しては、徐々に入荷が始まっていく。上旬は少なめで、中旬以降、沖縄産の色目が揃ってくる見通し。その他、山形等を中心に比較的安定した入荷となる見込み。単価については特別大きな需要が無いものの、入荷も少ない為安定したものとなる見込み。</p>
			<p>FAJ 入荷量減少する見込み。各色バランスよく入荷予定。相場安定。</p> <p>東日本板橋花き 産地の切り替えとなり、下旬より沖縄物入荷増L40</p> <p>世田谷花き 沖縄県産の入荷が始まるが、台風の影響で入荷減か。</p> <p>第一花き 徐々に産地の切り替わりになってくるが、全体的に少なく安定した流れ@35</p>
トルコキキョウ	群馬	目立った病害虫も無く生育は順調。概ね前年並みの出荷量を見込む。	<div data-bbox="778 1055 863 1088" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現状</div> <p>高冷地は遅れていた物が安定して、継続出荷中。、西南産地は気温が低く、昨年より生育が遅れているが、下旬には出揃う。販売面では比較的安定した価格で推移している。</p>
	熊本	全体としては生育順調であるが、台風時の管理や気温の低下の影響で一部遅れなどが見られる。11月10日頃から年内分が各産地出揃う模様。	<div data-bbox="778 1155 863 1189" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見通し</div> <p>大田花き 西南産地が本格出荷となり主力の静岡、高知、熊本等中旬以降増加して来る。比較の日柄も良くプライダル需要中心に安定した取り引きが見込まれる。</p>
			<p>FAJ 暖地の出荷量増え、本格化する見込み。日取りが良く引き合いあり。順調な取り引きが見込まれる。</p> <p>東日本板橋花き 高冷地からの出荷も終盤を迎え暖地中心の出荷に切り替わってくる。業務中心の需要。</p> <p>世田谷花き 福岡・熊本・愛知・栃木・茨城などから各色入荷。婚礼需要強い。</p> <p>第一花き プライダル・業務需要中心の流れ、入荷状況にもよるが概ね例年並み@100</p>

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
バラ	山梨	生育は順調。 昨年より2～3日遅い。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">現状</div> 国産については気温低下の影響により、暖地の品質向上が例年より2～3週間ほど早く上位等級の出荷が多くなっている。 輸入は販売が厳しくなっていることから、絞った入荷となっている。 ブライダルシーズンではあるが、3連休前の活発な仕入れ以外は落ち着いている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">見通し</div> 大田花き 気温の低下に伴い、暖房を炊き始めるが、炊ききれない産地も出てくることが予想されるため、出荷量はやや減となる見込み。 入荷量 2,700,000本 単価 85円 FAJ 引き続き、宴会需要中心の動き変わらず。 東北入荷減少し、静岡・愛知など西南暖地中心の取り引きに。 東日本板橋花き 引き続き業務需要中心の動き、入荷量は横ばい。 世田谷花き 連休前の引き合いが強い。暖地物の引き合いが強まる。 第一花き ブライダル・業務需要中心の流れ、品種・品質による単価差はでる。@100
	茨城	・出荷ピークは平年並みの見込み。 ・病害虫の発生は、特に見られない。	
	群馬	目立った病害虫も無く生育は順調。夏の気温が高くなかったことから、品質は良好。	
アルストロメリア	山形	・8月下旬から9月の気温が、平年よりやや低く経過したため、生育は順調である。 ・11月の出荷量は、前年並みと見込まれる。 ・病害虫の発生は少なく、切り花品質は良好である。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">現状</div> 愛知、長野中心の入荷となり、北海道は減少。上旬は、数量が増加傾向だったが、下旬より低温の影響からやや減少した。台風の影響で販売苦戦した場面もあったが、おおむね中値での取引展開となった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">見通し</div> 大田花き 低温の影響から、咲き足が鈍り始めるが、数量は横ばいの見込み。下位等級が少なくなり、上位等級中心の荷姿になる。 470,000本 @90 FAJ ひきつづき長野・山形より入荷。品種も多彩に。安定した品質で順調な取り引き続見込み。 東日本板橋花き 愛知中心の入荷、上位等級も徐々に多くなって来る。 世田谷花き 潤沢なまま推移。引き合い継続。 第一花き 業務需要中心の流れ、入荷も少なく安定した流れ概ね例年並み@120
ストック	山形	・生育初期にあたる9月の気温が全般にやや低く経過したため、概ね順調に進んでいる。 ・11月の出荷量は、前年並みと見込まれる。 ・切り花品質は、気温の低下に伴い、草丈の伸びや花穂のボリューム感などが向上している。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">現状</div> 山形産中心に丈の短いもの主体で若干の前身気味での入荷状況。中旬より徐々に引き合い高まる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">見通し</div> 大田花き 上旬に庄内方面中心に数量は纏まる見込み。天童、袖裏は下旬より増加。千葉産も初旬に出荷開始の見込み。 FAJ 山形県産なども出荷始まる見込み。徐々に産地出揃う。 東日本板橋花き 世田谷花き 山形・福島などから、SP系・ST系共に入荷潤沢。 第一花き